

# 密度の高さと雑味のなさは特筆すべきもの 情報量も多く、演奏のグルーブ感や愉悦も感じさせる

筆者はクズマのアナログプレーヤー、STABI S COMPLETE SYSTEM IIを2015年暮れから使っているが、今回はそのフラッグシップのカートリッジが日本に導入されるということで自宅で試聴した。トーンアームは同社の上級機、4 POINTを使った。その名前の通り、トーンアームの根本は4つの尖ったポイントで支えられており、抵抗の少なさと遊びのなさを両立しているというのが一番目の特徴。二番目はレコードを再生しながらVTA（トーンアームの根本の高さ）調整がきわめて精度高くできる点だ。

自宅のシステムに組み込んで聴き出したが、あまりにもいろいろな印象的な音があるので紹介するのに困惑してしまう程だ。まずそのみっちりとした密度の高さと雑

**演奏会場の実在感を感じさせ  
微細な空気感も素晴らしい**

味のなさは特筆すべきもの。安定感や音の太さ、それでいて膨大な情報量を聴かせてくれる4 POINTというトーンアームに装着されていることもあるが、自宅の部屋という現実よりも、たとえばビル・エヴァンス・トリオ「ワルツ・フォー・デビィ」のヴィレッジ・ヴァンガードとか、カラヤン／ベルリンフィルのフィルハーモニーホールの実在感が高くなってしまっている。最低域から高音の倍音領域までエネルギーに瘦せたところがなく、音の色彩感を濃厚に感じさせてくれる。中でも低音の良さはすべてのオーディオ好きの人に体験して欲しいところだ。ちょっと量を多めに感じさせるが、ストレートで豊潤でコクがあり、押し出しが良く、ウッドベースやドラムスのキックの気持ちよさと言ったら、もう一生涯を出たくなるほどである。空間表現力や微細な空気感も素晴らしい。情報量は膨大に多いのだが、それよりも演奏のグルーブ感とか音楽を聴く愉悦とか、そういうものを先に感じさせるカートリッジだ。演奏自体にぐいぐい引き込まれていく。

## Profile

スロヴェニアのアナログ専門ブランドKUZMAより、CARラインのMCカートリッジ4モデルが登場した。CAR-50はその中でも最上位となるモデルで、コイル線に4N銀、カンチレバーにサファイアを採用。4点支持のトーンアーム4 POINTと組み合わせてそのサウンドをレポートする。

**Specification** 【4POINT】●重量:1,650g●取り付け距離:212mm●実効長:280mm●スピンドルから水平ヘアリングまでの距離:264mm●オフセット角:19.50°●適応カートリッジ質量:最大35g●VTA調整:あり●アジマス調整:あり●バイアス調整:あり●キューイング・デバイス調整:あり  
●ケーブル:バイワイヤリング●アーム・チューブ:アルミニウム削り出し  
【CAR-50】●タイプ:可動コイル●コイル線:4N銀●カンチレバー材質:サファイア●スタイラス:マイクロリッジ針●周波数レスポンス:10Hz~45kHz●出力電圧:0.3mV●チャンネルバランス:(1dB●チャンネル分離:30dB●針圧:2.0g●コンプライアンス:10x10^-6cm/dyne●トラッカビリティ:70μm●インピーダンス:6Ω●負荷インピーダンス:100Ω●正味質量:17g●取り扱い:シーエスフィールド製

## 試聴システム

- アナログプレーヤー:KUZMA「STABI S COMPLETE SYSTEM II」
- プリアンプ:SUNVALLEY「SV-192A/D」
- パワーアンプ:SUNVALLEY「SV-2PPM-6200」
- スピーカーシステム:SONUS FABER「ELECTA AMATOR III」

## 試聴ソフト

- 「ワルツ・フォー・デビィ」ビル・エヴァンス・トリオ
- 「アンブラッド」エリック・クラプトン
- 「ブラームス:ヴァイオリン協奏曲」ナタン・ミルシテイン、オングエン・ヨッフ、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

1982年にフランク・クズマによって設立されたクズマはスロヴェニアで独自路線を歩む高級アナログプレーヤー専門のメーカーである。アナログ再生に対してストイックとも言える哲学を持っていて、セッティングが決まった時の音は峻厳とも言える再現性があり、鮮やかでヴァイタリティに溢れたものだ。

**VTAを精度高く調整できる  
トーンアームと組み合わせ試聴**

半年ほど試用していたが、ラジオでダイヤルを回しながらチューニングするように、このこというポイントが音で判断できています。

味や音の太さ、それでいて膨大な情報量を聴かせてくれる4 POINTというトーンアームに装着されていることもあるが、自宅の部屋という現実よりも、たとえばビル・エヴァンス・トリオ「ワルツ・フォー・デビィ」のヴィレッジ・ヴァンガードとか、カラヤン／ベルリンフィルのフィルハーモニーホールの実在感が高くなってしまっている。最低域から高音の倍音領域までエネルギーに瘦せたところがなく、音の色彩感を濃厚に感じさせてくれる。中でも低音の良さはすべてのオーディオ好きの人に体験して欲しいところだ。ちょっと量を多めに感じさせるが、ストレー

## DETAILS



真鍮とアルミのパーツを組み合わせたリジッドな構成のMCカートリッジCAR-50。音溝から音楽情報を歪みなく抽出する



鈴木氏の自宅プレーヤーに取りつけられた4POINTとCAR-50。VTAのセッティングを追い込むことで、アナログサウンドを究極まで追い込むことができるという

# スロヴェニアのアナログ専門ブランドより MCカートリッジ、CARシリーズが日本上陸

Text by 鈴木 裕  
Yutaka Suzuki



## KUZMA 4POINT CAR-50

トーンアーム  
¥1,200,000(フォノケーブル一体型、税別)

MCカートリッジ  
¥1,100,000(税別)